

月日会々報

発行所
都立田園調布高等学校
同窓会 月日会
東京都大田区田園調布南27-1
発行人 田中博隆
編集責任者 小西正晃

おもな内容

- 月日会60周年に向かつて新たな船出を紙上総会開催
- 母校60周年記念事業盛大に開催される「ぼろにあ祭」バザー9月18日(土)開催
- 寺島元校長先生ご逝去

月日会六〇周年に向かつて新たな船出を

月日会 会長(6期) 田中博隆



60周年祝賀会で校歌を歌う会長

月日会の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年の11月23日、田高の創立60周年記念式典・祝賀会が開催されました。実行委員長を仰せつかり、16代中野英雄校長先生のご指導を頂き一年半の長い準備に一生懸命取り組まさせていただきました。会員の皆様のご理

解とご支援を心から感謝申し上げます。学校、(財)田園調布PTA、元PTA・清流会、月日会のオール田高の「輪と和」を心から感じました。生徒さんの式典発表会は、素晴らしいもので、東京都教育委員会委員長木村孟様からお褒めのお言葉を頂きました。

月日会の地域社会への貢献活動は、(財)田園調布の事業を支援しております。昨年は、月日会・オール田高の方々959名の動員を頂きました。うち、生徒さんの参加が377名と、「奉仕」の授業への事業として、生徒さんの社会性を育てる良い機会となりました。

紙上総会開催

田中博隆氏(6期)は、長年の間会長職を担い月日会活動を牽引されてきましたが、昨秋の「60周年記念事業」を区切として、世代交代のために辞任の意思を表明されました。また、会計監査の家入園子氏(3期)からも同様に辞任の申し出がありました。これらにより、月日会幹事会は、名誉会長、会長、会計監査選任のため、総会(紙上)を開催し、次の方々をそれぞれ推薦いたします。

①名誉会長 田中博隆氏(6期) 新任
*田中博隆氏は、昭和63年度より8期22年にわたり月日会会長職を務められました。新会長を支えるために、名誉会長に推薦いたします。

会となっており、

学校では、中野英雄前校長先生に2年間、伊藤 豊前経営企画室長に3年間、大塚お世話様になり感謝申し上げます。また、前PTA会長田中美枝子様、清流会会長糸瀬敬一様のご支援誠にありがとうございます。今年度は17代桑原 洋校長先生、鈴木真由美経営企画室長が就任されました。どうぞよろしくご指導の程お願いいたします。

月日会幹事会も月日会60周年に向けて船出しました。チームワークを強力にしていけるため、新副会長に源田真由美さん(20期)と山本順子さん(24期)を指名し、幹事会の承認を頂きました。

更なる発展を目指して

都立田園調布高等学校長 第17代 桑原 洋



中野英雄先生の後任として、四月一日付で、都立美原高等学校の副校長から着任いたしました。昨年度は、創立六十周年記念式典挙行の際に、月日会の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。

本校は長い歴史を持ち、月日会の皆様、清流会の皆様、PTAの皆様、これらを支える財団の皆様から強いご支援をいただいております。皆様のご支援のおかげで本校の教育活動が充実しております。皆様に感謝申し上げます。

今年度の入学式は、四月七日

した。鍵和田、源田、山本、小西副会長に責任役割分担して、会長の会務を補佐して頂きます。この紙上総会で、田中は会長を辞任し、鍵和田幹夫(19期)さんを新会長に推薦申し上げます。鍵和田さんは会務を総理するに充分力をもった方です。

初代岡沢校長先生から現17代桑原校長先生に至るまで諸先生方のご指導を頂き、また月日会の皆様には長い間多大なご支援と温かい励ましを頂き心より感謝を申し上げます。会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈り致しております。

財団法人田園調布 理事長 学校運営連絡協議会協議委員長

寺島元校長先生のご逝去



田高時代の先生

第8代学校長 寺島甲祐先生におかれましては、平成21年1月ご逝去されました。(84歳)

昭和54年から6年間田高に在籍くださり、ご退職後、学校法人竹早学園にて講師を務められました。ご専門は、「倫理・社会」で、「西洋の倫理思想」(城南印刷)の著書等があります。

田高就任の年、創立30周年記念式典を挙行されました。

昭和55年12月には、先生のご指導により「PTA会報」の創刊号が発刊され「創造力を伸ばす教育こそ最も大切な教育の原理」と書かれています。また先生は、財団法人田園調布の理事長として、「山中寮」の維持管理に大変ご苦勞され、PTA、月日会と検討の上、学校運営の援助財団となればと「山中寮」を売却。現在の基本財産の基を築かれました。

ご退職後も「田高で生まれた友情は生涯生き続けるものです」とおっしゃって月日会活動を大切に、発展するようにと常に温かいご支援を頂きました。月日会には、先生に励まされながら活動してきました。田高を愛してくださった寺島先生とのお別れは、大変さびしく、悲しいです。月日会一同心よりご冥福をお祈り申し上げております。

(遺稿)

「我が生涯に悔なし
天下に王となるも あずかり
存せざる 教育という精神的価値と楽しみの中に生きることができたことである。」

今春六十一期生 二四二名入学

入学式に参列して:

田高の第61回入学式が執り行われたのは、例年より早い満開を迎えた桜の花が、散ることなく新入生を祝福していた四月七日のことでした。肌寒さを感じる体育館で一人一人の名前が呼ばれた時、元気な声で、また消え入りそうに小さな声で返事をしていた新入生の皆さんが、いつか共に声を合わせ力を合わせて、大きな田高生の輪を作り上げていくことを願っています。

この日演奏や合唱で皆さんを歓迎してくれた先輩達のように:

20期 源田真由美



入学式での校歌紹介

58期生卒業式

平成22年3月13日、58期生の卒業式が行われました。

田高生である最後の日を迎え、名残惜しうにゆつくりと入場行進をしているように見えました。卒業生からの言葉、在校生からの言葉が交わされ、また先生や来賓の方からの祝辞を聞き、終わってしまった3年間やこれから思いを馳せているようでした。校歌合唱では体育館いっぱい卒業生の声の響き、とても素晴らしい四重奏でした。

卒業生の皆様、おめでとうございます。

56期 山梨 裕加



多摩

合唱祭から生まれた田高校歌の4部合唱。私が初めて混声4部合唱の校歌を聴いたのは57期生の卒業式のこと。卒業生の歌声が素晴らしいハーモニーとなつて重なり合い、体育館に響き渡った時の感動は忘れられません。創立60周年記念式典でも、大ホールに校歌が響き、再び感動を味わうことが出来ました。そして、新しい校歌CD(財団法人田園調布製作)には、平成20年度合唱コンクール優勝クラスの歌う4部合唱が加わりました。多くの方にこの曲をお聴きいただきたいと思っております。

でも、24期生の私が歌えるのは昔ながらの校歌合唱です。創立60周年記念祝賀会の締めも校歌合唱。懐かしい方々との歓談の後、田高を応援してくださる皆様の声が明るく揃い、1期生から57期生まで期を問わず、笑顔で元気に歌った楽しいひと時でした。校歌を皆で歌う時、歌の力が一つにまとまるのを感じます。

24期 山本 順子

新卒業生 五十八期生 二百三十一名

田高卒業生は延一万五千七百二十四名となりました。連絡可能月日会会員は、約一万一千九百名です。

年会費ご納入ありがとうございます。今年度もよろしく願います。

会員の皆様には、月日会活動にご理解をいただき感謝しております。この会報を皆様にお届けできるのも皆様からの年会費・ご寄付のおかげです。ご協力を本当にありがとうございます。

60年 都立田園調布高等学校

3日 盛大に開催されました



東京都立田園調布高等学校創立60周年記念式典



会委員長 木村孟様挨拶



歴代校長先生方と



学校長挨拶

記念式典

平成21年11月23日(祝)午後2時、秋晴れのなか「めぐろパライシモン」大ホールにおいて、母校田園調布高等学校の創立60周年記念式典が盛大に開催されました。学校長式辞の後、木村孟東京都教育委員会委員長にご挨拶をいただきました。また、記念事業委員会委員長として田中博隆月日会会長の挨拶、記念品贈呈、感謝状贈呈と式典は滞りなく進行しました。第一部最後の校歌合唱では会場いっばいに混声四部合唱の校歌が響き渡りました。休憩時間にはロビーで茶道部のお手前や、月日会が中心となって準備したパネル展示を来場者は楽しんでいました。第二部では、箏曲部・ダンス同好会・吹奏楽部の発表があり、生徒たちの日頃の活動成果を発揮して、ご来賓の方々も満喫されていた様子でした。

田高60周年に際し、記念事業委員会からは学校に「ピッチングマシン」「オーケストラチャイム」「十七弦琴」「茶道用傘」「横断幕」が贈られ生徒の活動に活用されています。また、月日会からも周年事業積立金から百万円を寄付したほか桐の木3本を新たに贈呈し、植樹致しました。

都立田園調布高等学校 創立60周年記念式典

この他、50周年以降の十年間をまとめた記念誌を発行し、来場者等に配布されました。14期卒業生の植田まささんデザインによるシンボルマークがこの事業に一環として使用され、当日の記念品としてこのマーク入りの「エコバック」「ブックカバー」「クリアファイル」「タンブラー(祝賀会のみ)」が制作され、参加者の想い出の品となりました。

37期 小西 正晃 (記念事業委員会副委員長)



箏曲部



ダンス同好会



吹奏楽部



十七弦琴贈呈



オーケストラチャイム贈呈



茶道部へ傘を贈呈



ピッチングマシン贈呈

都立田園調布高等学校 創立60周年記念祝賀会

記念式典終了後、めぐろパライシモン小ホールにて創立60周年記念祝賀会が開催されました。PTAの皆さんを中心に、清流会の皆さんと月日会も協力し、和やかな会となりました。多くのご来賓の方々とともに記念事業委員長のご発声で鏡開きが行われ、スクリーンには、月日会編集による田高の歩みをまとめたスライドショーが写され、懐かしい写真が来場者の皆様の話題に花を添えました。ア

トラクションでも多くのお客様にご登壇いただき、月日会からは、先輩の1期生 染野美代子さんに「祝い舞」をご披露いただき会場が和みました。10期生 矢口雅章さんから在校時代のエピソードのご紹介があり、一番若い、57期生後藤史典さんに月日会入会の抱負を伺いました。また、副会長37期生小西さん率いる田園調布ウィンドアンサンブルの演奏で会場が盛り上がりました。締めは校歌斉唱。



鏡開き



1期 染野さん



10期 矢口さん



閉会の辞(鏡和田副会長)



田園調布ウィンドアンサンブル



2009.7.26 植田まさし

新たな田高の歴史を築こう

前校長 中野 英雄



祝賀会の綿密な打合せ、記念品の検討、記念アルバム作成等、アイデアと実行力の素晴らしさ。母校を愛するその心意気にただただ頭が下がる思いであった。

学校に育てられた同窓生が、学校を育て、生徒を育てていく。母校とはそういうものだと思ふ。だから同窓生とは有難いものなのだ。田高の60年の節目でその思いが最も輝いた瞬間であ

田高創立60周年の記念事業の成功は月日会・清流会・PTA・財団が心を一つにし、改めてその結束力を発揮したものであった。記念誌の校正、式典・

あった。この輝きを受け継いでいくのは在校生たちである。自分の学校に誇りを持って日々の勉学に励む。そのことが新たな田高の歴史を築いていくことになる。

還暦を迎えての新たな出発。田高にとって輝かしい10年になることを期待している。田高生がその潜在能力を十二分に発揮すれば、勉強、部活、行事と田高はもっともっと大きく成長できると確信している。

月日会への感謝と在校生への激励とをこめ、田高創立70周年に立ち会えることを楽しみにしたい。

平成二十一年度会計報告

平成二十二年年度予算

